



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月13日

東

上場会社名 ダイニック株式会社 上場取引所
 コード番号 3551 URL <http://www.dynic.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大石 義夫
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 佐々木 範明 (TEL) 03-5402-3132
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績 (平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	20,300	0.4	311	△43.6	366	△36.2	336	△28.0
26年3月期第2四半期	20,215	1.4	552	△1.2	574	5.2	466	36.3

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 688百万円(△40.9%) 26年3月期第2四半期 1,164百万円(215.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	7.92	—
26年3月期第2四半期	10.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	49,770	15,867	31.4
26年3月期	46,481	15,139	32.6

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 15,629百万円 26年3月期 15,139百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	△2.6	900	△25.3	900	△26.3	650	26.9	15.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	42,523,735株	26年3月期	42,523,735株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	134,964株	26年3月期	133,498株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	42,389,809株	26年3月期2Q	42,393,995株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げ前の駆け込み需要の反動による個人消費への影響はありましたが、円安基調が続き、企業収益の改善を背景に設備投資が増加するなど緩やかな回復傾向で推移しました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、引き続き原価低減をはじめとする収益改善への取り組みを継続してまいりましたが、平成26年2月の記録的な大雪により当社埼玉工場の一部建屋が損壊したことで、一部の商品が生産出来ない状況となり、利益面では大きな影響がありました。

その結果、売上高は20,300百万円（前年同四半期比0.4%増）となりました。利益面につきましては、営業利益311百万円（前年同四半期比43.6%減）、経常利益366百万円（前年同四半期比36.2%減）、四半期純利益は336百万円（前年同四半期比28.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して3,289百万円増加し、49,770百万円となりました。これは主に現金及び預金が680百万円、土地456百万円、建設仮勘定が503百万円、投資有価証券が664百万円増加したことなどによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比較して2,561百万円増加し、33,903百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が714百万円、短期借入金が753百万円、長期借入金が979百万円増加したことなどによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して728百万円増加し、15,867百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間に係るキャッシュ・フローの状況は以下の通りです。

営業活動によるキャッシュ・フローでは、減価償却費349百万円、たな卸資産の増加288百万円、仕入債務の増加754百万円などにより当第2四半期連結累計期間は337百万円の収入となりました。これは前第2四半期連結累計期間の89百万円の収入に対し247百万円の収入の増加となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローでは、有形固定資産の取得による支出1,369百万円などにより当第2四半期連結累計期間は1,437百万円の支出となりました。これは前第2四半期連結累計期間の49百万円の支出に対し1,388百万円の支出の増加となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローでは、短期借入金の純増加737百万円、長期借入金の純増加1,056百万円などにより当第2四半期連結累計期間は1,758百万円の収入（前年同四半期206百万円の支出）となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、3,246百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成26年5月14日発表の数値に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、割引率の決定方法を国債等の利回りと従業員の残存勤務年数等を勘案して算定する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

なお、この適用による影響はありません。

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、建物以外の有形固定資産の減価償却方法について、従来定率法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

この変更は、当社グループの中期経営計画を策定するにあたり、新たな生産体制及び設備投資に関する方針を決定したことを契機として、有形固定資産の使用実態を見直した結果、当社及び国内連結子会社の有形固定資産は安定的に稼働し、また、修繕費も平準的に発生しているため、定額法が有形固定資産の使用実態をより適切に反映した費用配分方法と判断したためであります。

この変更により、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益はそれぞれ39,849千円、税金等調整前四半期純利益は40,040千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,821,849	3,501,660
受取手形及び売掛金	9,817,296	9,940,464
商品及び製品	3,520,357	3,818,602
仕掛品	942,291	961,172
原材料及び貯蔵品	2,232,197	2,147,262
繰延税金資産	480,804	485,504
その他	1,211,999	1,677,796
貸倒引当金	△94,549	△97,995
流動資産合計	20,932,244	22,434,465
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,486,531	12,512,529
減価償却累計額	△9,454,188	△9,512,840
建物及び構築物(純額)	3,032,343	2,999,689
機械装置及び運搬具	18,917,616	19,140,800
減価償却累計額	△17,631,241	△17,583,862
機械装置及び運搬具(純額)	1,286,375	1,556,938
工具、器具及び備品	2,754,246	2,794,077
減価償却累計額	△2,609,136	△2,628,444
工具、器具及び備品(純額)	145,110	165,633
土地	9,977,049	10,432,722
リース資産	1,039,514	1,054,502
減価償却累計額	△448,991	△509,240
リース資産(純額)	590,523	545,262
建設仮勘定	344,274	847,620
有形固定資産合計	15,375,674	16,547,864
無形固定資産		
その他	37,350	36,361
無形固定資産合計	37,350	36,361
投資その他の資産		
投資有価証券	6,465,829	7,130,024
長期貸付金	30,247	30,247
繰延税金資産	140,135	136,259
投資不動産	3,437,600	3,438,875
減価償却累計額	△793,694	△815,296
投資不動産(純額)	2,643,906	2,623,579
その他	952,829	929,830
貸倒引当金	△96,949	△98,388
投資その他の資産合計	10,135,997	10,751,551
固定資産合計	25,549,021	27,335,776
資産合計	46,481,265	49,770,241

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,704,669	8,419,055
短期借入金	10,083,667	10,836,290
リース債務	137,731	122,713
未払法人税等	49,508	194,399
賞与引当金	371,052	399,742
役員賞与引当金	31,100	22,520
災害損失引当金	380,242	257,216
設備関係支払手形	203,194	348,085
その他	1,122,319	1,078,376
流動負債合計	20,083,482	21,678,396
固定負債		
長期借入金	4,736,490	5,715,510
リース債務	437,500	407,099
繰延税金負債	1,166,522	1,370,269
再評価に係る繰延税金負債	1,501,315	1,501,315
環境対策引当金	10,082	5,367
事業整理損失引当金	266,749	241,532
退職給付に係る負債	2,293,845	2,159,671
その他	845,923	823,606
固定負債合計	11,258,426	12,224,369
負債合計	31,341,908	33,902,765
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,795,651	5,795,651
資本剰余金	944,696	944,696
利益剰余金	5,333,375	5,457,018
自己株式	△29,654	△29,900
株主資本合計	12,044,068	12,167,465
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	989,266	1,444,516
土地再評価差額金	2,596,297	2,596,297
為替換算調整勘定	△487,603	△581,103
退職給付に係る調整累計額	△2,671	2,324
その他の包括利益累計額合計	3,095,289	3,462,034
少数株主持分	-	237,977
純資産合計	15,139,357	15,867,476
負債純資産合計	46,481,265	49,770,241

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	20,214,960	20,300,266
売上原価	16,327,902	16,638,751
売上総利益	3,887,058	3,661,515
販売費及び一般管理費	3,335,162	3,350,208
営業利益	551,896	311,307
営業外収益		
受取利息	6,186	8,861
受取配当金	63,220	57,849
受取賃貸料	88,300	93,477
為替差益	5,571	-
雑収入	75,588	135,080
営業外収益合計	238,865	295,267
営業外費用		
支払利息	95,361	90,221
為替差損	-	22,020
雑損失	121,745	128,270
営業外費用合計	217,106	240,511
経常利益	573,655	366,063
特別利益		
固定資産売却益	2,687	362
投資有価証券売却益	187,506	7
受取保険金	-	365,000
特別利益合計	190,193	365,369
特別損失		
固定資産処分損	4,677	5,398
投資有価証券評価損	1,500	-
ゴルフ会員権評価損	630	-
災害による損失	-	171,017
訴訟関連損失	-	52,750
特別損失合計	6,807	229,165
税金等調整前四半期純利益	757,041	502,267
法人税等	290,925	177,101
少数株主損益調整前四半期純利益	466,116	325,166
少数株主損失(△)	-	△10,428
四半期純利益	466,116	335,594

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	466,116	325,166
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	364,454	455,250
為替換算調整勘定	318,309	△93,746
退職給付に係る調整額	-	4,995
持分法適用会社に対する持分相当額	15,112	△3,307
その他の包括利益合計	697,875	363,192
四半期包括利益	1,163,991	688,358
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,163,991	702,339
少数株主に係る四半期包括利益	-	△13,981

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	757,041	502,267
減価償却費	429,608	349,414
その他の償却額	1,429	989
のれん償却額	678	-
賞与引当金の増減額(△は減少)	42,821	28,690
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△5,646	△8,580
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△62,912	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	-	△124,067
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3,369	7,758
受取利息及び受取配当金	△69,406	△66,710
支払利息	95,361	90,221
為替差損益(△は益)	10,146	△584
持分法による投資損益(△は益)	842	△4,521
投資有価証券売却損益(△は益)	△187,506	△7
投資有価証券評価損益(△は益)	1,500	-
有形固定資産売却損益(△は益)	△2,687	△362
有形固定資産処分損益(△は益)	4,677	5,398
受取保険金	-	△365,000
訴訟関連損失	-	52,750
売上債権の増減額(△は増加)	954,599	△177,476
たな卸資産の増減額(△は増加)	△11,077	△288,322
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,237,379	753,686
未払消費税等の増減額(△は減少)	△10,088	△77,056
その他	△366,311	△670,854
小計	349,059	7,634
利息及び配当金の受取額	83,270	64,148
利息の支払額	△97,209	△92,070
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△245,660	44,248
保険金の受取額	-	365,000
訴訟関連損失の支払額	-	△52,250
営業活動によるキャッシュ・フロー	89,460	336,710
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△196,851	△205,613
定期預金の払戻による収入	189,226	154,732
有形固定資産の取得による支出	△509,951	△1,368,609
有形固定資産の売却による収入	4,880	470
投資有価証券の取得による支出	△8,892	△8,896
投資有価証券の売却による収入	483,368	51
関係会社株式の取得による支出	△3,882	-
投資不動産の取得による支出	-	△1,942
貸付金の回収による収入	100	-
貸付けによる支出	-	△1,608
その他	△6,986	△5,465
投資活動によるキャッシュ・フロー	△48,988	△1,436,880

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△309,004	736,656
長期借入れによる収入	2,325,520	2,613,650
長期借入金の返済による支出	△1,948,928	△1,557,316
少数株主からの払込みによる収入	-	251,958
リース債務の返済による支出	△61,393	△74,647
自己株式の取得による支出	△282	△246
配当金の支払額	△211,974	△211,951
財務活動によるキャッシュ・フロー	△206,061	1,758,104
現金及び現金同等物に係る換算差額	58,503	△25,078
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△107,086	632,856
現金及び現金同等物の期首残高	2,587,657	2,613,633
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,480,571	3,246,489

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	印刷情報 関連事業	住生活 環境関連 事業	包材関連 事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	8,193,007	6,298,694	3,124,639	17,616,340	2,598,620	—	20,214,960
セグメント間の内部売上高 又は振替高	156,858	—	8,210	165,068	518,626	△683,694	—
計	8,349,865	6,298,694	3,132,849	17,781,408	3,117,246	△683,694	20,214,960
セグメント利益	534,665	280,360	148,406	963,431	189,187	△600,722	551,896

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、衣料用接着芯地やファンシー商品及び運送・保管の事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△600,722千円には、セグメント間取引高消去△19,913千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△580,809千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	印刷情報 関連事業	住生活 環境関連 事業	包材関連 事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	9,001,115	5,508,833	3,052,618	17,562,566	2,737,700	—	20,300,266
セグメント間の内部売上高 又は振替高	137,484	—	8,704	146,188	501,045	△647,233	—
計	9,138,599	5,508,833	3,061,322	17,708,754	3,238,745	△647,233	20,300,266
セグメント利益	447,267	218,182	133,794	799,243	125,579	△613,515	311,307

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、衣料用接着芯地やファンシー商品及び運送・保管の事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△613,515千円には、セグメント間取引高消去△32,322千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△581,193千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。